

Report

2013.9.30

北上信用金庫 平成25年度上半期

第2次「しんきん『つなぐ力』発揮」
GOING KITAKAMI

ねみえ
#6

見えしんきん

がんばろう! 岩手

経営理念

地域金融機関として

「中小企業の健全な発展」「住民生活の向上」「地域社会の繁栄」
の実現に貢献する



錦秋湖沿いを走るJR北上線

信用金庫とは

信用金庫は、中小企業や地元の方々を会員とする協同組織形態の金融機関で、地域の中小企業の経営や住民の生活に役に立つ金融商品や金融サービスの提供に努めています。

協同組織金融機関は、会員の相互扶助を基本理念とする非営利法人で、信用金庫は、融資については原則として会員に限定されていますが、その他の業務については、預金、為替、公共料金などの金銭収納、保険の窓販等、一般の銀行とほとんど変わらない金融機能を備え、会員はもとより、会員以外の方とも広く取引しています。

KITAKAMI SHINKIN BANK

この街と生きていく。



北上信用金庫

業績のご案内

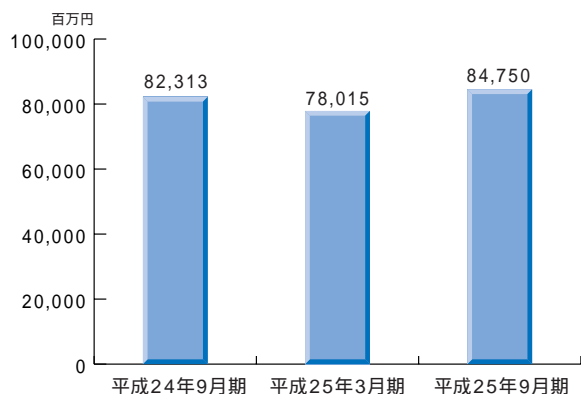
《半期情報開示について》

信用金庫の決算は、法律により年1回と定められておりますが、当金庫におきましては、経営の健全性、透明性の確保に努め、地域の皆様方に適時適正な情報を開示していくという方針のもと、半期情報を開示しております。

なお、平成25年9月期の計数等につきましては、仮決算に基づくものであり、監査法人の監査を受けたものではありません。

預金積金の状況

預金積金残高の推移



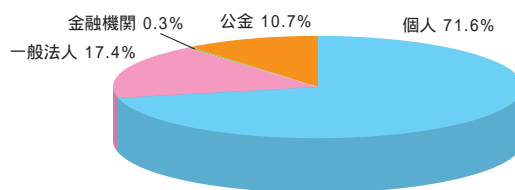
預金積金は、みなさまから信頼いただいているあかしです。

地域のお客様の着実な資産づくりのお手伝いをさせていただくため、お客様の目的に応じた預金商品の開発とサービスの一層の充実を図っております。

平成25年9月期の預金積金残高は、前期比6,735百万円増加の84,750百万円となりました。

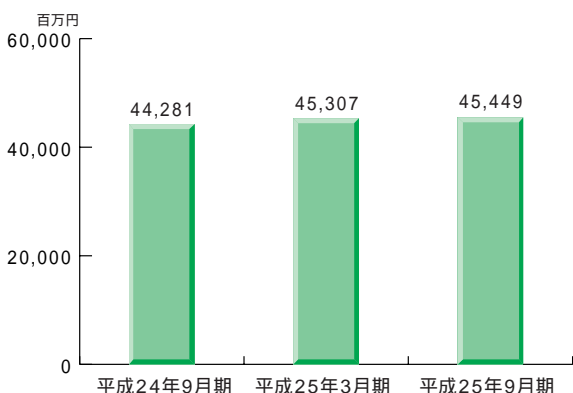
預金積金残高のうち個人預金が71.6%を占めております。

預金者別預金残高の割合
平成25年9月期



貸出金の状況

貸出金残高の推移



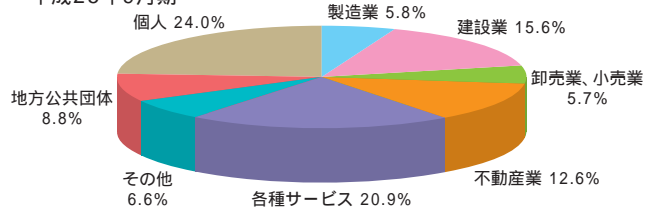
お客様の資金需要に積極的にお応えしております。

地元のお客様よりお預け入れいただいた大切なご預金は、地元で事業を営む事業者や個人のお客様にご融資することで、地域社会に還元しております。

平成25年9月期の貸出金残高は、前期比141百万円増加の45,449百万円となりました。

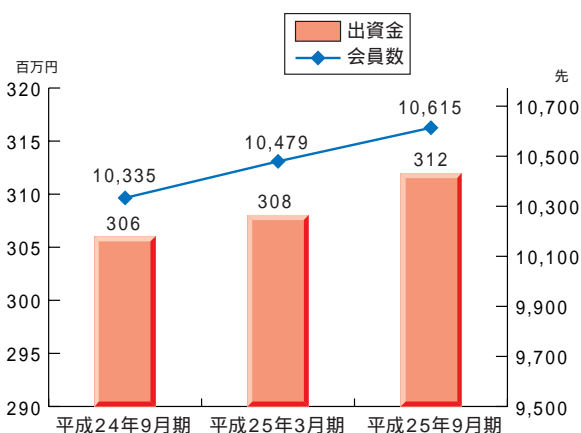
また、特定先や特定の業種にかたよることなく、幅広く貸出を行うことで地域の発展や活性化に活かされるよう努めております。

業種別貸出金残高の割合
平成25年9月期



会員の推移

会員数と出資総額の推移



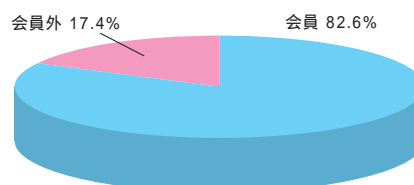
信用金庫は「相互信頼」と「互恵」の精神に基づく会員による協同組織金融機関です。

信用金庫は「会員制度」を基本とした地域金融機関です。当金庫会員は、会員数10,615先（出資金額312百万円）前期比136先増加で、北上・西和賀地区の人口100,354人（平成25年9月末）の約1割を占めております。

今後も、地域社会の発展のため、会員組織の一層の活性化を図ってまいります。

なお、出資1口（出資1口の金額500円）以上を有し、出資額は5,000円以上であることが会員資格要件のひとつとなっております。

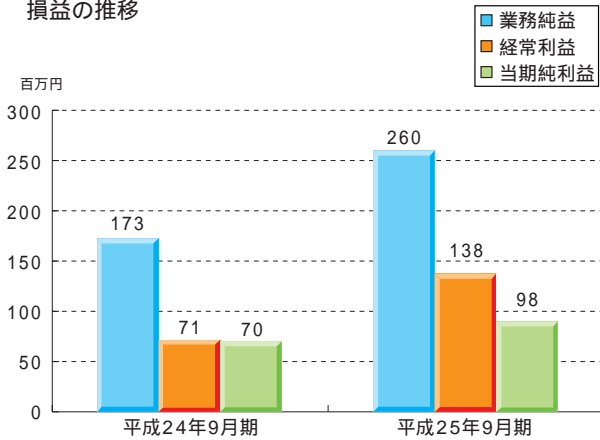
会員・会員外別貸出金残高の割合
平成25年9月期



平成25年9月期の業績をご紹介します。

損益の状況

損益の推移



安定した収益の確保に努めております。

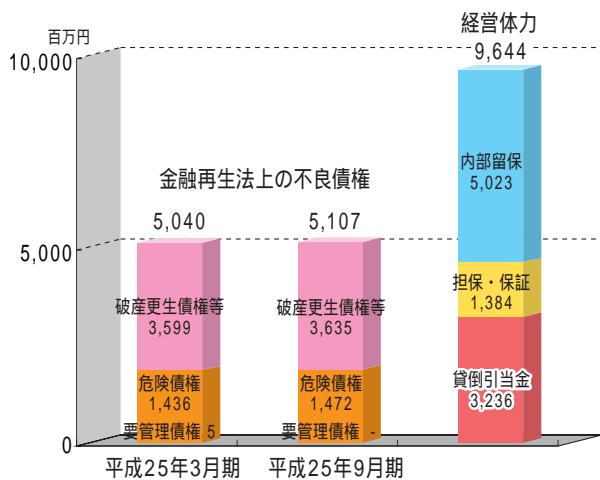
本業の利益を示す業務純益は260百万円となったほか、経常利益は138百万円、当期純利益は98百万円を計上しました。

地元の事業者や個人のお客さまの資金需要にお応えするとともに、各種リスク管理を徹底し、今後も安定的な収益確保に取り組んでまいります。

「業務純益」とは、金融機関の利益を見るうえでの重要な指標で、預金・貸出金や為替業務等金融機関本来の業務から生まれた利益です。
「経常利益」とは、業務純益に貸出金償却、貸倒引当金繰入額等の臨時損益を加減したものです。
「当期純利益」とは、経常利益に特別損益を加減し、法人税等を控除した最終利益です。

金融再生法ベースの債務者区分による開示

金融再生法上の不良債権と経営体力



資産の健全性向上を図っております。

当金庫の金融再生法開示による不良債権は、前期比67百万円増加、不良債権比率は0.13ポイント上昇して11.19%となりました。

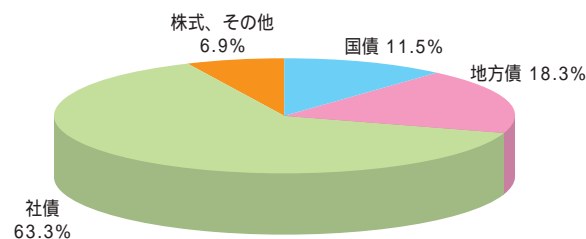
これらの不良債権は、担保・保証や貸倒引当金により90.46%保全されているほか、内部留保を加えた経営体力9,644百万円によりカバーされております。

これら不良債権については、引き続き回収を図るよう取り組んでいるほか、お取引先の実態把握に努め、お取引先の経営改善に相協力し全力を上げて取り組み、資産の健全性向上に努めております。

金融再生法開示債権は、「貸出金」に加え、「債務保証見返」「未収利息」「仮払金」を対象債権としております。
平成25年9月末時点で実施した自己査定に基づき、金融再生法ベースで開示しております。
「破産更生債権等」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取ができない可能性の高い債権です。
「要管理債権」とは、「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。
「貸倒引当金」とは、将来、貸出金が回収不能となった場合に、その損失をカバーするための備えとして積み立てておく引当金です。

有価証券の時価情報

有価証券残高構成比
平成25年9月期



市場関連リスクを考慮し、安全な運用に心がけております。

お客様からお預かりしております預金積金は貸出金のほか、有価証券等で運用しております。資金の公共性に鑑み、安全性や収益性に留意し、国債をはじめ、地方債、社債等で運用しております。

子会社・子法人等株式及び関連法人等株式
該当ございません。

その他有価証券

(単位：百万円)

	平成25年9月期			
	貸借対照表計上額	評価差額	うち益	うち損
その他有価証券	13,302	432	466	33
株式	44	2	5	2
債券	12,190	419	441	21
その他	1,067	10	19	9

1) 貸借対照表計上額は、25年9月末における市場価格等に基づいております。
2) 上記の「その他」は、信金中央金庫の優先出資証券及び投資信託です。
3) 「評価差額」は取得原価（償却原価）と貸借対照表計上額との差額を計上しております。

時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券

(単位：百万円)

平成25年9月期	
貸借対照表計上額	
その他有価証券 非上場株式	9

売買目的有価証券
該当ございません。

満期保有目的の債券

(単位：百万円)

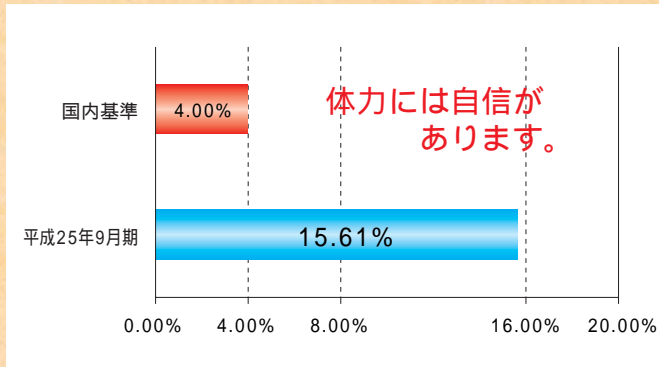
	平成25年9月期			
	貸借対照表計上額	差額	うち益	うち損
満期保有目的の債券	2,899	70	78	8

1) 「差額」は、貸借対照表計上額と時価との差額を計上しております。
2) 時価は、25年9月末における市場価格等に基づいております。

自己資本の充実の状況等について

自己資本の充実の状況

自己資本比率とは、リスク・アセット（総資産のうち、万が一の場合に貸し倒れの可能性がある資産、この資産に対して危険度に応じた割合を掛けて求めます。）に占める自己資本額の割合で、信用金庫の経営状況を把握する重要な指標です。自己資本比率が高ければ高いほど、財務の安全性・健全性が高く経営基盤が安定しているといえます。

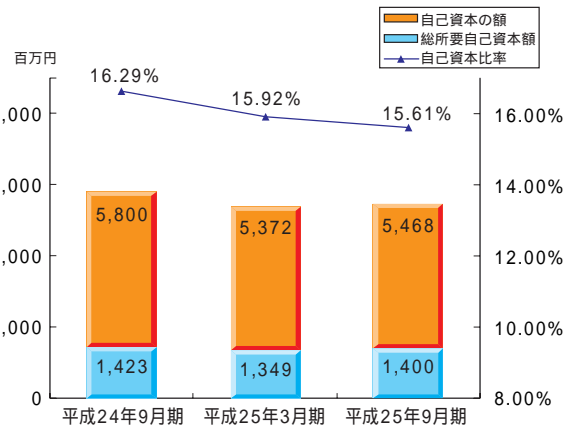


体力には自信があります。

当金庫の平成25年9月期の自己資本比率は15.61%で、国内基準4%の3倍超、これだけでなく都市銀行など海外で営業している金融機関の基準値（国際基準）8%をも優に超えた高い水準を維持し、十分な健全性を確保しており、皆様に安心してお取引いただける経営内容となっております。

自己資本額は、前期比96百万円増加の5,468百万円となりました。自己資本額とは、出資金や過去の利益の積立金などです。

自己資本額・総所要自己資本額・自己資本比率の推移



$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本（基本的項目 + 補完的項目）（5,468百万円）}}{\text{信用リスク・アセットの額 + オペレーショナル・リスク相当額 ÷ 8\%（32,226百万円）（222百万円）}} \times 100 = 15.61\%$$

自己資本の構成に関する事項

(単位: 百万円)

	平成25年3月期	平成25年9月期
基本的項目(A)	5,234	5,336
出資金	308	312
利益準備金	304	304
特別積立金	4,510	4,510
繰越金(当期末残高)	111	209
処分未済持分()	-	-
その他有価証券の評価差損	-	-
補完的項目(B)	138	132
控除項目(C)	-	-
自己資本額(D) = (A + B - C)	5,372	5,468
リスク・アセット等計(E)	33,733	35,013
資産(オン・バランス項目)	30,768	32,074
オフ・バランス取引等項目	177	151
オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	2,787	2,787
単体Tier1比率(A / E)	15.51%	15.24%
単体自己資本比率(D / E)	15.92%	15.61%

(注)
「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁告示第21号）」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

自己資本の充実度に関する事項

(単位: 百万円)

		平成25年3月期		平成25年9月期	
		リスク・ アセット	所要 自己資本額	リスク・ アセット	所要 自己資本額
イ．信用リスク・アセット 所要自己資本の額合計		30,946	1,237	32,226	1,289
	標準的手法が適用されるポート フォリオごとのエクスポージャー	30,768	1,230	32,074	1,282
	ソブリン向け	467	18	422	16
	金融機関向け	6,906	276	8,148	325
	法人等向け	10,869	434	10,318	412
	中小企業等・個人向け	4,144	165	4,255	170
	抵当権付住宅ローン	1,913	76	1,853	74
	不動産取得等事業向け	225	9	1,275	51
	三月以上延滞等	891	35	1,365	54
	その他	5,350	214	4,435	177
	証券化エクスポージャー	-	-	-	-
複数の資産を裏付けとする資産 のうち、個々の資産の把握が困 難な資産		-	-	-	-
ロ.オペレーショナル・リスク		2,787	111	2,787	111
ハ.単体総所要自己資本額(イ＋ロ)		33,733	1,349	35,013	1,400

(注)

- 「ソブリン向け」は、「我が国の中央政府及び中央銀行」「外国の中央政府及び中央銀行」「国際決済銀行等」「我が国の地方公共団体」「外国の中央政府等以外の公共部門」「国際開発銀行」「地方公共団体金融機関」「我が国の政府関係機関」「地方三公社」向けのエクスポージャーです。
- 所要自己資本の額 = リスク・アセット × 4%
- 「エクスポージャー」とは、資産（派生商品取引によるものを除く）並びにオフバランス取引及び派生商品取引の与信相当額等のことです。
- 「三月以上延滞等」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3カ月以上延滞している債務者に係るエクスポージャー及び「ソブリン向け」「金融機関および第一種金融商品取引業者向け」「法人等向け」（「国際決済銀行等向け」を除く）においてリスク・ウェイトが150%になったエクスポージャーのことです。
- オペレーショナルリスクは、当金庫は基礎的手法を採用しています。

<オペレーショナル・リスク（基礎的手法）の算定方法>
粗利益（直近3年間のうち正の値の合計額）× 15%
直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数 ÷ 8%

6. 単体総所要自己資本額 = 単体自己資本比率の分母の額 × 4%

中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組の状況

「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律」を踏まえた対応措置等の概要について

当金庫は、地域の中小企業および個人のお客様に必要な資金を安定的に供給し、地域経済の発展に寄与するため、地域金融の円滑化に全力を傾注して取組んでおります。

これからも、地域から信頼される金融機関を目指すとともに、金融円滑化の推進に向けた取組みを一層強化してまいります。

対応措置の実施に関する方針の概要

（基本方針）

地域の中小企業および個人のお客様への安定した資金供給は、事業地域が限定された協同組織金融機関である信用金庫にとって、最も重要な社会的使命です。私どもは、お客様からの資金需要や貸付条件の変更等のお申込みがあった場合には、これまでと同様、お客様の抱えている問題を十分に把握したうえで、その解決に向けて真摯に取組みます。これらの対応措置の実施に関しては理事会で金融円滑化方針を決議の上、役職員一体となって取組んでおります。

（態勢整備）

当金庫は、取組み方針を適切に実施するため、以下のとおり、必要な態勢整備を図っております。

態勢整備を図るため理事会等において決議した事項

- ・基本方針、金融円滑化管理方針および金融円滑化管理規程等の策定
- ・本部に金融円滑化管理責任者（担当理事）、営業店に金融円滑化管理担当者（副本支店長）及び相談窓口担当者等の配置
お客様へのきめ細やかな経営改善支援を行うための態勢整備
- ・中小企業相談支援チームを配置し、信用保証協会や中小企業再生支援協議会等との連携により支援に取組んでおります。
お客様の事業価値を見極める能力（目利き力）を向上させるための研修等
- ・毎年度、本部・営業店の融資担当職員を「目利き力養成研修」「企業再生支援実践講座」などの外部研修に派遣し目利き能力の向上に努めております。

貸付の条件の変更等の実施状況

平成21年12月4日から平成25年9月末までの累積実績は以下の通りです。

貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権の数と額

〔中小企業のお客様向けの貸付債権〕

（単位：件、百万円）

	件数	金額
貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権	791	17,952
うち、実行に係る貸付債権	699	16,306
うち、謝絶に係る貸付債権	54	941
うち、審査中の貸付債権	0	0
うち、取下げに係る貸付債権	38	703

〔住宅資金お借入のお客様向けの貸付債権〕

（単位：件、百万円）

	件数	金額
貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権	39	362
うち、実行に係る貸付債権	30	269
うち、謝絶に係る貸付債権	3	32
うち、審査中の貸付債権	0	0
うち、取下げに係る貸付債権	6	60

中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組の状況

地域密着型金融推進への取組について（平成25年4月～平成25年9月（平成25年度上期）の状況）

平成15年度以降、金融庁が取りまとめた2次にわたるアクションプログラムのもと、平成17年度から平成18年度を地域密着型金融推進計画の重点強化期間として、地域密着型金融の機能強化に向けた取組を積極的に進めてまいりました。平成19年度以降についても引き続き、当金庫独自に地域密着型金融推進の計画を策定し取組んでおります。

平成25年度上期においても、地域の金融ニーズに適切に対応十分な信頼を得るため、地域密着型金融の一層の推進を進めてまいりました。

なお、平成25年度上期における地域密着型金融推進への取組み状況は以下の通りです。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

中小企業相談支援チームを中心として支援先企業の経営改善に取組んでおります。

「経営者セミナー」「次世代経営塾」等を開催し、取引先企業の経営相談・支援機能の強化に努めております。

本部審査部と営業店の店長及び融資担当役員で組織した中小企業相談支援チームが主体となり、今年度は支援先企業を26先選定し、うち9先を強化支援先に指定、支援先企業の経営改善支援に取組みました。そのうち2先については岩手県中小企業再生支援協議会を活用し、経営改善支援に取り組んでおります。

中小企業庁、北上市、当金庫の主催により、地元製造業の活性化と地域経済の発展を目的として実施した「ものづくり補助金」「創業補助金」の活用意見交換会を開催しました。（平成25年6月、参加者50名）（ものづくり補助金実績5件、創業補助金実績7件）

「きたしん次世代経営塾」の勉強会を6月、7月、9月の3回開催しました。「きたしん次世代経営塾」は若手経営者、次世代後継者の経営力強化と経営者同士の新たなネットワーク作りを目的として平成22年3月に設立し、今年度が第4期目となります。経営コンサルタントによるセミナーやグループ討議、さらには受講者同士、当金庫職員との情報交換の場を提供し、若手経営者、次世代後継者の育成支援に取り組んでいます。

平成25年11月開催予定の「北上信用金庫経営者セミナー」の準備を進めております。「北上信用金庫経営者セミナー」は取引先への経営相談・支援機能の強化を目的に平成8年から毎年継続的に実施しております。



第4期「きたしん次世代経営塾」勉強会



西和賀町観光振興コンサルティング
検討委員会 最終報告会

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

不動産や第三者保証人等に過度に依存せず、定性情報を含めた地域での情報を活かして、取引先企業の事業価値を見極めた融資等の推進に取り組んでおります。

取引先企業のそれぞれの状況に応じた資金調達の多様化に取り組んでおります。

取引先企業の事業価値を見極める能力を向上させるため、各種研修への参加や研修の伝講会等を通して人材の育成に取り組んでおります。

課題解決型金融推進・強化をめざした人材育成を図るため、全国信用金庫協会や東北地区信用金庫協会、岩手県信用金庫協会等が主催する外部研修や花北法人会社会人セミナーに職員を派遣したほか、派遣した職員による伝講会を実施し、習得知識、手法の共有化を図りました。

NPO法人日本不動産鑑定理事長久保田清氏を講師に招き、事業価値を見極める能力の向上や資金調達の多様化における知識の習得を目的として「動産評価を活用した事業再生と出口戦略」の勉強会を開催しました。（平成25年5月、参加者63名）（動産・債権譲渡担保融資実績1件）

東日本大震災からの復興の一環として信金中央金庫、信金キャピタル㈱と連携を図り、被災地域で再生に取り組む中小企業を支援するための復興支援ファンド「しんきんの絆」（劣後ローン）を推進しました。（しんきんの絆実績1件）

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

地域経済全体を展望したビジョン策定への積極的支援等を通じて、地域で積極的な役割を果たしてまいります。

地域の次世代を担う世代や金融犯罪の標的になりやすい高齢者などへの「金融教育」実施による地域社会への金融知識の普及や、各種の金融相談等に取組んでおります。

西和賀町における観光振興を目的に、西和賀町、信金中央金庫および地元の事業者などと共同で、地域活性化のための実行性ある施策の検討を行う「西和賀町観光振興コンサルティング検討委員会」を立ち上げ活動してきました。3月に中間報告会、7月には最終報告会を行い、今後は検討した施策を実施する新メンバーを集い、観光地の環境整備やイベントの企画等を検討していきます。

しんきんマネースクールの一環として北上青年会議所主催の「鬼っジョブ～北上おしごとパーク」へ出展し、市内小学生に対して窓口業務及びお札の数え方についての体験を実施しました。（平成25年8月、参加者78名）

年金支給日に「振込め詐欺」被害防止運動を実施しました。全店ATMコーナーに職員を配置し、見回りを強化するとともに、パンフレットの配布によりATM利用者や来店する高齢者の方々等への金融犯罪被害未然防止の注意喚起を図りました。また、渉外活動においても、高齢者、年金受給者等への定期訪問時に注意喚起を呼びかけました。



鬼っジョブ～おしごとパークへの出展

平成25年度上期地域密着型金融推進の取組み実績

(單位：先)

(単位：元)				経営改善支援 取り組み率	ランクアップ率	再生計画策定率
期初 債務者数	うち 経営改善支援 取り組み先数	うち ランクアップ先数	うち 再生計画策定先数			
A	B	C	D	B / A	C / B	D / B
1,062	26	0	26	2.4%	0.0%	100.0%

(単位：件数)

創業・新事業支援融資先数	4	中小企業再生支援協議会の活用 (再生計画策定先数)	2	動産・債権譲渡担保融資	1
ビジネスマッチングの成約件数	1				

金融ADR制度への対応

「苦情处理措置」

当金庫は、お客さまからの苦情のお申し出に公正かつ的確に対応するため業務運営体制・内部規則を整備し、その内容をホームページ等で公表しています。

苦情は、当金庫営業日（午前9時～午後5時）に営業店または総務部（電話：0197-63-2307）にお申し出ください。

1. 苦情等のお申し出があった場合は、その内容を十分に伺ったうえ、内部調査を行って事実関係の把握に努めます。
2. 事実関係を把握したうえで、営業店、関係部署等とも連携を図り、迅速・公平にお申し出の解決に努めます。
3. 苦情等のお申し出については記録・保存し、対応結果に基づく改善措置を徹底のうえ、再発防止や未然防止に努めます。

[紛争解決措置]

当金庫は、紛争解決のため、当金庫営業日に上記総務部または全国しんきん相談所（午前9時～午後5時、電話：03 - 3517 - 5825）にお申し出があれば、東京弁護士会（電話：03 - 3581 - 0031）、第一東京弁護士会（電話：03 - 3595 - 8588）、第二東京弁護士会（電話：03 - 3581 - 2249）の仲裁センター等にお取次ぎいたします。また、お客さまから各弁護士会に直接お申し出いただくことも可能です。

なお、前記弁護士会の仲裁センター等は、東京都以外の各地のお客さまにもご利用いただけます。その際には、お客さまのアクセスに便利な東京以外の弁護士会をご利用する方法もあります。例えば、東京以外の弁護士会において東京の弁護士会とテレビ会議システム等を用いる方法（現地調停）や、東京以外の弁護士会に案件を移す方法（移管調停）があります。ご利用いただける弁護士会については、あらかじめ前記「東京弁護士会、第一東京弁護士会、第二東京弁護士会、全国しんきん相談所または当金庫総務部」にお尋ねください。

北上信用金庫は、西和賀町を応援しています。

どこにも無い四季と湯の里 西和賀町



地域社会の一員として

地域社会の一員としてさまざまな活動を展開しております。

トピックス

平成25年	4月21日	第11回北上信用金庫杯少年サッカー大会（北上総合運動公園）
	6月 3日	サマーキャンペーン期間限定定期預金「サマー2013」取扱～8月30日 期限限定定期預金「しんきん東日本大震災こども応援定期預金」取扱～12月27日
	6月 7日	総代モニター会（ホテルシティプラザ北上）
	6月12日	第4期「きたしん次世代経営塾」開講式 第1回勉強会（プランニュー北上）
	6月14日	第65回通常総代会（ホテルシティプラザ北上） 「信用金庫の日」PR運動（全店）
	6月29日	第58回岩手県下信用金庫野球大会（大迫野球場）～30日
	7月 5日	平成24年度決算報告会（職員）（北上オフィスプラザ）
	7月14日	第39回北上信用金庫ゴルフ大会（栗駒ゴルフ倶楽部、表彰式：ホテルシティプラザ北上）
	7月17日	平成24年度決算報告会（北上市様）（プランニュー北上）
	7月23日	第4期「きたしん次世代経営塾」第2回勉強会（北上オフィスプラザ） 平成24年度決算報告会（報道機関様）（ホテルシティプラザ北上）
	7月25日	西和賀町観光振興コンサルティング検討委員会最終報告会（西和賀町湯夢プラザ）
	7月27日	東北地区信用金庫協会野球大会（天童市スポーツセンター野球場）～28日
	7月29日	平成24年度決算報告会（西和賀町様）（ホテル対滝閣）
	8月 1日	「よいこのお絵かき大会」各店ロビー～23日
	8月 2日	北上みちのく芸能まつり市民パレード参加 本通り商店街夏祭り歩行者天国にて、アンパンマン握手会開催
	8月15日	「振込め詐欺」被害防止運動（全店）
	8月24日	第26回北上信用金庫OB会定期総会・決算報告会（プランニュー北上）
	9月 6日	総代懇談会（ホテルシティプラザ北上）
	9月19日	第4期「きたしん次世代経営塾」第3回勉強会（北上オフィスプラザ）



北上みちのく芸能まつり市民パレード



北上信用金庫杯少年サッカー大会



アンパンマン握手会
本通り商店街
夏祭り歩行者天国にて

地域社会とのふれあい

地域の行事等への参加を通して、地域の皆さまとの交流を深めております。これからも、積極的に参加・協力し、地域に貢献してまいります。



本通り商店街夏祭り歩行者天国催し手伝い
〔本店〕



河北新報錦秋湖マラソンボランティア
〔西和賀支店〕



北上信用金庫ゴルフ大会

きたしん会（きたしん会・信和会・西和賀しんきんクラブ・北上駅前しんきん友の会）・はばたきの会・ほほえみの会・きたしん健康友の会等を組織して、ゴルフ大会、ゲートボール大会、親睦旅行など様々なイベントを開催しております。

本店

「諏訪町商店街振興組合、きゅうり天王宮祭り」手伝い
「新穀町商店街宵宮祭り」手伝い
「本通り商店街夏祭り歩行者天国」催し手伝い
春・秋全国交通安全運動における黒沢尻西小学校通学路での交通安全指導
店外清掃活動

藤根支店

「佐野公園清掃活動」への参加
「わがの里地域交流夏祭り」手伝い
「社会福祉法人方光会感謝祭」手伝い

西和賀支店

「錦秋湖マラソン」手伝い
「湯本温泉丑まつり」手伝い
「湯川温泉山菜フェスタ」手伝い
春・秋全国交通安全運動における交通安全街頭指導及び黄色い羽配布事業への協力

常盤台支店

「常盤台七夕まつり」への参加（七夕飾りの作製、夜店手伝い）
春・秋の交通安全運動における交通安全街頭指導

大堤支店

「社会福祉法人立正会夏祭り」手伝い
ミズバショウ公園清掃活動

北上駅前支店

「黒沢尻26区駅前大通り花壇植栽活動」への参加
春・秋の交通安全運動における交通安全街頭指導
北上駅西口地域安全連絡協議会地域パトロールへの協力

柳原支店

春・秋の交通安全運動における交通安全街頭指導

東支店

春・秋の交通安全運動における交通安全街頭指導
「黒沢尻27区演芸会」への参加



地元とともに

北上信用金庫

〒024-0094 岩手県北上市本通り一丁目5番30号

TEL 0197-63-2307（代）

ホームページアドレス <http://www.kitakami.ne.jp/> shinkin/

e-mail shinkin@kitakami.ne.jp